

公共下水道とは。

污水管・雨水管・終末処理場の3つを備えたものが公共下水道。

生活と自然を守る下水道。

市民のみさんから要望の多い下水道が67年(一部共用開始)から使用できるようになります。

私たちが生活していくためには、毎日多量の污水や雨水が排出されています。

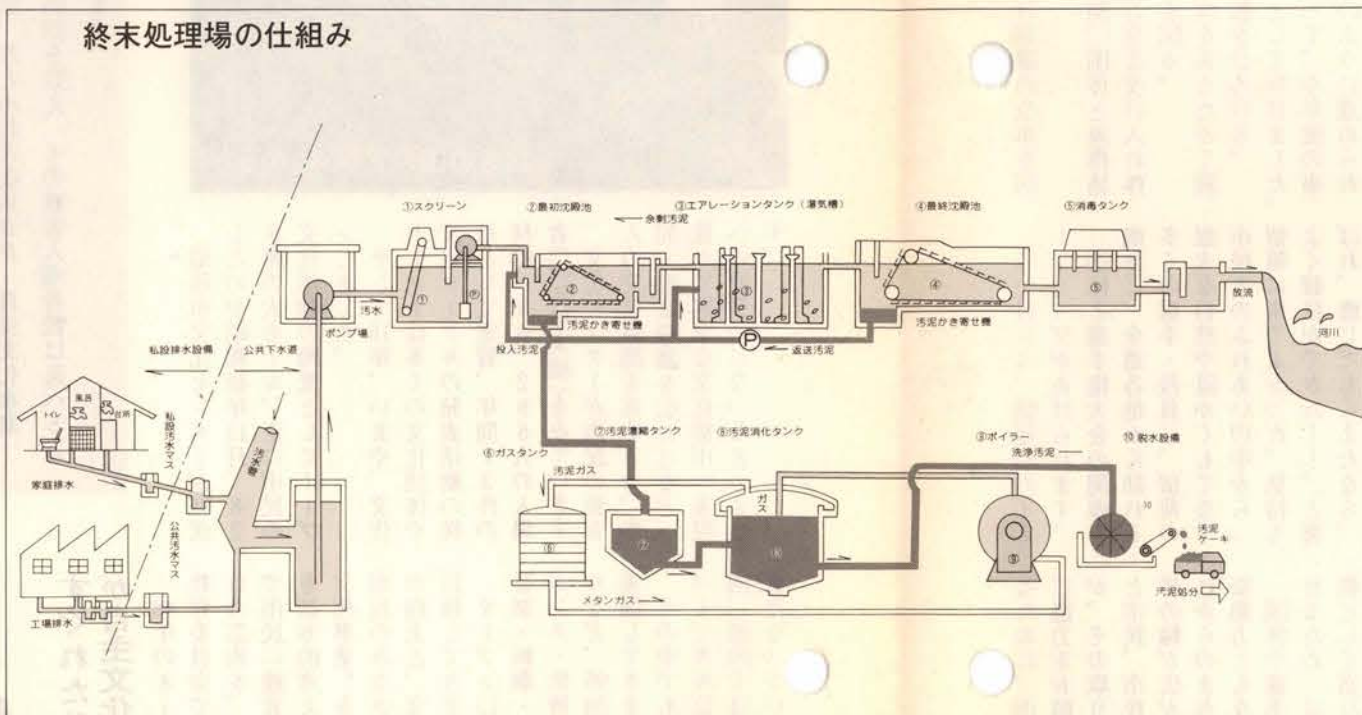
大きな雨が降ると、街のどこかに浸水被害があったり、水たまりやドブが出きたりします。

また、家庭污水の浸透、側溝のヘドロの悪臭、トイレの悪臭、そしてカヤハエの発生源となる悩み、河川の水質汚濁等、私たちの日常生活に悪影響をあたえています。

下水道は、このような污水を集めてきれいな水にし、自然界に戻す役目をします。下水道は近代化された私たちの生活にとってなくてはならない施設なのです。

昭和50年から始まった公共下水道事業も早14年。私たちのまちの快適環境時代の幕開けです。

終末処理場の仕組み



下水道の役割……。

下水道の役割は、時代の流れとともに変わってきていますが、現在は次のようになっています。

- ①雨水が低いところにたまらないようにすること。
- ②私たちの生活環境をよりよくすること。
- ③くみ取り式トイレを水洗トイレにかえること。
- ④川や海や湖をきれいにすることなどをあげることができます。

下水処理の流れ……。

私たちが家庭で使ったあとのよごれた污水や雨水は、どのようにして、きれいな水となって、川や海にもどされていくのでしょうか。

污水は、道路の下などにうめられている下水道に流れこみ、処理場まで運ばれます。

雨水は、污水が流れこむ下水道と別の下水道に流れて、直接川に流れこみます。

下水道は、土地のこう配を利用

して、下水を運ぶしくみになっていますが、下水管をうめる場所があまり深くなりすぎると、ポンプ場を設けて、下水をくみ上げ、下水の水位を高くして、また、こう配を利用して、下水を流れるようになっています。

下水道(汚水用)やポンプ場を通して、終末処理場に運びこまれた下水は、上の図のようないくつもの施設を通りぬけるあいだに、しだいにきれいな水に生まれ変わってゆきます。

終末処理場は下水道の心臓部。

終末処理場は、バクテリアなどの働きで(活性汚泥法といいます)汚水中の物質(有機物)を分解して、きれいな水に変わる施設です。

処理場は、沈砂池、汚泥処理、水処理などの施設からなり、それらを通った水はきれいになって、さらに消毒され川に放流されます。

下水道の仕組みと種類。

下水道は「分流式」と「合流式」の2つの仕組みに分かれます。

「分流式」というのは、雨水と污水を別々の管に集める方法で、最も多く用いられている方法です。

「合流式」というのは、逆に雨水と污水を1つの管に一緒に集める方法です。

私たちのまちでは「分流式」をとっています。

終末処理場の処理方法。

処理方法は「浮遊生物法」と「固着生物法」があります。

「浮遊生物法」は、酸素を好むバクテリア菌に汚水中の有機物を食べさせる方法です。

「固着生物法」は、ろ過方式や急速にかくはんして有機物をお互いに固めさせてしまう方法です。

多く用いられているのは「浮遊生物法」で、市では、この方法の中でも最も一般的な標準活性汚泥法を用いて処理する計画になっています。

ことしの下水道管布設工事は……。

ことしも左記の区間で下水道管の布設工事を行いますので、ご協力をお願いします。

- 工事期間
5月11日から12月末まで
- 工事をする場所
①宮園町旧右川治療院前～梶繁正宅。
②錦町中居菓子店～斎藤電器。藤田栄吉宅～矢川泰弘宅。
③錦町金市館～石井小児科医院。宮園町松原乙松宅～金沢旅館。長生治療院宮園分院～市民生協。渡辺宅～加葉田精吉宅。
④花園町米永宅～川口宅。(株)門脇

- 鉄工所～プロフォートシオヤ。門脇鉄工所～日設興業(株)。開運町米永昆布加工場～野口豆腐店。
- ⑤開運町城川宅～邪囃屋。四青堂～三島新聞店。
- ⑥明元町マサヤ食堂～伊佐津歯科医院。
- ⑦開運町沢泉外科病院～留萌地方米穀(株)。
- ⑧栄町(株)笠井商店～ジョセフィン化粧品留萌中央店。笠井酒店～旅館末広館。
- ⑨花園町留萌中央青果物卸売市場(株)駐車場～(株)大丸包装。
- ⑩浄化センター建設敷地内。

